

Kawasaki Women's Jazz Festival

2024

ウィメンズ・ジャズ
フェスティバル @すくらむ21

国際女性デー チャリティーコンサート

Walk Together,
Walk in Her Shoes

〈第1部〉
あさおポップスコラス
西村 勝行 piano
&
古川 真理 violin
西村 貴行 sax
関谷 友貴 electric bass
町田 孝 percussion

〈第2部〉
遠藤律子ピアノトリオ
遠藤 律子 piano
山口 彰 bass
藤井 学 drums
堤 智恵子 sax
平松 加奈 violin
Maria Eva vocal



歩く国際協力

彼女たちの未来を、
歩くことで支えよう。

ウィメンズ・ジャズ・フェスティバルは「Walk in Her Shoes 2024」を
後援しています。

2024年3月10日(日)14:00開演
会場 川崎市男女共同参画センター
すくらむ21ホール

◆主催：ウィメンズジャズフェスティバル実行委員会 ◆音楽ディレクター：遠藤律子 ◆企画制作：ブリーズノート
◆共催：川崎市男女共同参画センター すくらむ21
◆後援：音楽のまち・かわさき推進協議会



すくらむ21



Program

第1部 あさおポップスコラス

1. The Trolley Song
作詞/H.Martin
訳詞/K.Nishimura
作曲/R.Blane

2. ミュージカルメドレー
Magic To Do~
New York New York~One

3. 天使のささやき
作詞.作曲/K.Gamble & L.Haff
訳詞/H.Okamoto

4. Stop In The Name Of Love
作詞/L.Dozier
訳詞/H.Okamoto
作曲/E&B.Holland

5. Hallelujah
作詞.作曲/L.Cohen
訳詞/H.Okamoto

6. The Rose
作詞.作曲/A.McBroom
訳詞/H.Okamoto

7. また君に恋してる
作詞/松井 五郎
作曲/森 正明

8. サボテンの花
作詞.作曲/財津 和夫

9. Heal The World
作詞.作曲/M.Jackson
訳詞/H.Okamoto



第2部 Women of Jazz

1. Recuerdos Dela Alhambra
~Delilah
遠藤律子ピアノトリオ

2. 愛燦燦
作曲/小原 佳
堤智恵子 & 遠藤律子ピアノトリオ

3. シェルブールの雨傘
作曲/Michel Legrand
平松加奈 & 遠藤律子ピアノトリオ

4. Ticket To Ride
作曲/Lennon-McCartney
堤智恵子 & 平松加奈 & 遠藤律子ピアノトリオ

5. Proud Mary
作詞.作曲/John Fogerty

6. Don't You Worry 'Bout A Thing
作詞.作曲/Stevie Wonder

7. Greatest Love Of All
作詞.作曲/M. Masser, L.Creed

8. Caravan
作詞/Irving Mills
作曲/Duke Ellington & Juan Tizol

5~8. Maria Eva & 堤智恵子 & 平松加奈
& 遠藤律子ピアノトリオ

~フィナーレ~

(曲目・曲順は変更の場合があります。)

全編曲/西村 勝行
ステージング 酒井麻也子

Women's Jazz Festival音楽ディレクターのピアニスト遠藤律子です。

ジャズはさまざまな国と民族の音楽を取り入れて即興演奏で新しい音を作る楽しい音楽です。

かれこれ45年間、ジャズを演奏してきましたが、私が仕事を始めた頃は女性ミュージシャンはピアノ、フルート、ヴォーカルくらいで少なかったのですが今やたくさんの種類の楽器を使って素晴らしいジャズを演奏する女性ミュージシャンが活躍しています。以前は女性ミュージシャンが少なかったため、珍しいということが売りでもありましたが、今や女性ミュージシャンは珍しくもなくジェンダーに関係なく腕を磨いてお聴きくださる皆様喜んで頂ける音楽作りに励んでおります。ジャズのライブハウスはだいたい夜の演奏で、お仕事帰りの大人のビジネスマンがメインのお客様で、お家にいる方々にはなかなか気軽にライブ音楽をお聞きいただける機会はありませんでしたが、“Women's Jazz Festival”はどなたにもおいで頂きお楽しみ頂けるように、お昼のコンサート、夜のライブ、と多様にイベントを開催し、多様な出演者、多様なオーディエンスで多様な音楽であるジャズを皆さんでお楽しみ頂けるイベントです。今日はあさおポップスコラスとミュージシャン皆さんとジャズバンド仲間達と一緒に楽しいステージを作りますので、どうぞよろしくお願いたします。

ジャズピアニスト 遠藤 律子

Profile

あさおポップスコラス Asao Pops Chorus

1986年、麻生区に住む西村勝行&マナが、音楽を通して地域の方々と交流したいと願い、立ち上げたコーラスグループ。全国でも珍しいポップスコラスで、レパートリーは幅広くスクリーンミュージックからラテン・Jazz・ゴスペル・アメリカンフォークソング・Jポップ・カンツォーネなどがあり、2声から5声の混声コーラスにアレンジして歌っている。

西村 勝行 Katsuyuki Nishimura : piano

東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。クラシックに加え、ジャズピアノやジャズコーラスの分野で活動し、約20年以上にわたって渡辺プロダクション・TBS・日本テレビなどでボイストレーナーを務める。ミュージカルの音楽監督や作曲、映画音楽なども手掛けている。昭和音楽大学准教授歴任。著作権協会信託会員。

古川 真理 Mari Furukawa : piano

桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学卒業。在学中はアジアユースオーケストラに選出され、世界ツアーに参加。国内外で研鑽を積む。卒業後はプロオーケストラ、ミュージカルなど、幅広いジャンルの演奏活動を行う。昭和音楽大学にて合奏研究員とオーケストラ研究員を務めた。TOYOTAハリアーのカタログ制作に関わり、モデルへのヴァイオリンの持ち方指導と楽器貸出しを担当。これまでにヴァイオリンを小林久子、篠崎功子、アイリッシュフィドルをTamikoに師事。

西村 貴行 Takayuki Nishimura : sax

洗足学園短期大学音楽科ジャズコース卒業。Berklee College of Music サックス科卒業。帰国後はドラマやアニメ、CM、劇伴、アーティストのライブやレコーディングサポート、楽曲提供、アレンジャー、トラックメイカーとして活動中。2010年1st ミニアルバム「The Moment of Becoming a Star」リリース。

関谷友貴 Tomotaka Sekiya : bass

2009年、踊れるジャズバンドTRI4THに加入。2018年11月、SME レコーズよりメジャー・デビューし5枚のアルバムをリリース。SUMMER SONICやFUJII ROCK FESTIVALなどのロックフェスから、東京JAZZをはじめとする国内外のジャズフェスに出演し、エフェクティブで色豊かなウッドベースから繰り出されるグルーブ感には定評がある。また、音楽制作チーム「MISSING Sound Tracks」でのアーティストへの楽曲提供や、楽器メーカーへのサウンドアドバイザー、教則本「3年後、確実にジャズ・ベースが弾ける練習法」の出版など活動は多岐にわたる。

町田 孝 Takashi Machida : percussion

父の影響で10歳からアコースティックギターを始め、13歳の時にドラムとギターを始める。高校卒業後、鹿児島ハイテク専門学校にて非常勤講師としてドラム科に勤める。辞職をきっかけに単身上京。現在は東京を中心にサポートととドラマーの仕事を中心に、アレンジ業などもこなす。



遠藤 律子 Ritsuco Endo : piano

東京都出身。筑波大附属中学校を経てICU中退。2002年国際交流基金主催人物派遣事業中南米ツアーで、遠藤律子withFRV!を率いてコロンビア、ドミニカ、キューバ、ベネズエラ日本大使館主催コンサート出演。2002年上海&2003年北京、遠藤律子ピアノトリオ日中国交正常化30周年記念公演。2003年パリュネスコ本館 ユネスコホールコンサート、在パリュネスコ文化センター「ヨーロッパジャズフェスティバル」出演。2009年FRV!で国際交流基金主催事業南米コンサートツアー、ポルビア、ペルー、ベネズエラ、パラグアイ公演。2010年には米・モントレージャズフェスティバルに出演、会場全員がスタンディングオベーションの成功をおさめた。2011年メキシコの国家的イベントサンマルコス祭に招聘される。ライブハウス、高齢者施設、美術館など様々な場所で、会場一体となって熱く楽しく盛り上がるライブを開催中。美しい作曲と喜怒哀楽豊かな演奏で、あたたかい音楽の一時を作るピアニスト。また、ジャズポピュラーピアノ&理論レッスンを開催、社会人ミュージシャンの「気楽セッション」を主宰、音楽で人と人を繋ぐプロデューサーでもある。トリオでCD「SWAN LAKE」(JAZZ JAPAN 高音質ソフト最優秀作品賞)FRV!でCD「Light My Fire」他発売。



堤 智恵子 Chieko Tsutsumi : sax

埼玉県立伊奈学園総合高等学校吹奏楽部出身。高校時代は中村均一氏に、東京音楽大学時代はサクソ科にて石渡悠史氏に師事。在学中にジャズの魅力にとりつかれ土岐英史氏に師事し、奏法・理論などを学ぶ。その後、藤原雅裕氏、佐藤達也氏にも師事。多くのベテランプレーヤーとのセッションで評価を得た後、1994年今田勝氏(ピアノ)率いる「今田勝&NOWIN」に抜擢され、本格的にプロ活動を開始。1999年の初アルバムから、オリジナル、ジャズスタンダード、昭和歌謡、アニメソングのカバーなど、CD多数発売。2019年9月に『The Gift』(漫画家弘兼憲史氏監修)をリリース。現在絶賛発売中! テレビドラマ化された「部長風花凜子の恋」で演奏。



平松 加奈 Kana Hiramatsu : violin

ジブシージャズスタイルの演奏でフラメンコ音楽やラテンジャズを中心に、国内外で活躍するヴァイオリニスト&コンポーザー。2014年に放送された三谷幸喜脚本によるNHK人形劇『シャロックホームズ』の劇中音楽を担当。リーダーバンドにおける活動やフラメンコ舞踊公演への楽曲提供や演奏。2017年スペインのゴールドバで行われたベニートガルシア舞踊団のフラメンコ公演に出演。2013年、2019年にはスペインの大スター、フラメンコダンサーのアントニオ カナレスと共演。この時は、自作曲を提供している。2000年よりフラメンコギター伊藤芳輝氏率いるバンド「スパニッシュコネクション」のメンバーとしても活躍。メジャーレーベルから通算9枚のアルバムを発表し、2009年にはNHK人形劇「新・三銃士」の音楽も全編担当する。



Maria Eva : vocal

フィリピン出身。音楽一家に育ち、マリアは教会のセレモニーなどでソロを歌ってきた。その後各地のコンテストで優勝し、テレビやラジオに出演して、プロとしてのデビューを飾る。26歳で来日、ソウルやポップスを歌ったあとジャズ・ヴォーカルに専念し、世良謙、ジョージ川口、北村英治、西条孝之介、前田憲男、山下洋輔等、多くのミュージシャンと共演。貫禄あるソウルフルな歌唱力は、日本ジャズ界の大勢が認めるところとなり、2010年「日本ジャズヴォーカル賞」大賞を受賞し、外国人ジャズシンガーとしては初めての大賞受賞者となった。CD「マリア・エヴァ・クラブ」等発売。



山口 彰 Akira Yamaguchi :bass

上田正樹歌手とバンドを組み、後にジャック・ルーシェと東京バレエ団公演共演。大橋巨泉ツアーでハワイ公演。阿川泰子バンドでNTV「おしやれ30・30」出演。鈴木章二バンドを経て遠藤律子トリオでパリ、上海、北京公演及びCD「L'Amour est Bleu」「SWAN LAKE」に参加。深い音色と豊かな情感の演奏で人気のベーシスト。遠藤律子ピアノトリオCD「L'Amour est Bleu」「SWAN LAKE」参加。171



藤井学 Manabu Fujii : drums

阿川泰子バンドで日本テレビ「おしやれ30・30」出演。遠藤律子トリオ、クリヤ・マコト・トリオ、サリナ・ジョーンズ・バンド、福井ともみトリオ等、数多くのバンドで活動。ジャズだけでなく、フュージョン、ロック、ラテンと、あらゆるジャンルに対応できるドラマーとして信頼を集めている。映画「桜田門外ノ変」で藤井学パーカッショングループ演奏。ニューヨーク録音のリーダーCD「I'm a drummer」発売。遠藤律子ピアノトリオCD「L'Amour est Bleu」「SWAN LAKE」参加。